

# 東京都立水元小合学園

令和8年2月20日(通算136号)

東京都立水元小合学園 校長 小池 巳世

SNS

随時更新中



## 成長を確かめる

就業技術科 副校長 荒金 普玄

寒い日が続いていますが、児童・生徒たちは毎日元気に登校しております。

今年度も残りあと一か月となりました。今は、一人一人がこの一年で身に付けた力を確かめる大切な時期です。就業技術科では、各教科や職業に関する専門教科の学習、その他教育活動全般を通して、「働く姿勢」や「任された業務に責任をもち、最後までやりきる態度」が着実に身に付いてきました。こうした力は、就業体験や現場実習の場面でもしっかりと発揮されており、生徒たちの確かな成長を強く感じています。

肢体不自由部門では、自立活動やICT機器を活用した学習の中で、「できた」が積み重なり、子供たちの学習意欲と成長につながっています。また、部活動では、ハンドサッカーの合同チームとして他校の生徒とともに練習を重ねる中で、チームワークがより深まり、技能も着実に向上しています。2月14日(土)ハンドサッカー大会では、準優勝という素晴らしい結果となりました。

子供たちは、自分のペースで前に進みながら、仲間と支え合い、新しいことにも意欲的に挑戦しています。教職員も、児童・生徒が安心して学びに向かえるよう、一人一人の気持ちに寄り添いながら、丁寧に支えてまいります。

まとめの時期ではありますが、児童・生徒たちの成長はまだまだ続いていきます。残りの一か月も、それぞれの「前進」を大切にし、挑戦する姿をしっかりと見守っていきます。保護者の皆様には、引き続き教育活動への御協力をお願い申し上げます。

## TOKYO 障害者マッチング応援フェスタ

就業技術科 主幹教諭 中川 武

2月10日(火)東京ビッグサイトで行われました東京都主催 TOKYO 障害者マッチング応援フェスタに、職業に関する専門教科の3年生4コースが実演を行ってきました。このイベントは、就職を目指す障害者や御家族、障害者雇用に取り組む企業、関係各機関にむけた普及啓発を目的としています。オフィスサービスコース、ビルメンテナンスコース、ロジスティクスコース、フードサービスコースは日頃培った学習の成果を来場された方々を前に発表しました。実演を見た企業関係の方からは、「水元小合学園の様子を知ることができた」、「是非今度学校見学を希望したい」、「学んでいる技術の成果を採用につなげていけたら」等感想をいただきました。また、実演参加した他校の様子を見ることもでき貴重な機会となりました。

3年生は、2月27日(金)に行われる技能競技会・技能発表会に向けて、日々お互いに励まし合いながら技術を磨いています。そして今は、これまで学んできたことを1・2年生へ引き継いでいく大切な時期でもあります。先輩としての姿を見せながら、思いや技能を次の学年へつないでいきます。

# 肢体不自由教育部門

## 高等部3年生より

高等部3学年主任 白井 由紀枝

活気にあふれ、一人一人の個性が際立つ7人の仲間たち。仲間と活動する集大成である卒業制作や卒業式の練習を開始しています。高等部3年生の一年間は、国会議事堂や寅さん記念館への社会見学、ディズニーランドへの卒業遠足、ハンドサッカーなど部活動における活躍と、行事での貴重な体験を通して人との関わりや見聞を広げました。特に学習発表会で演じた「水元黄門」では、各自の普段の取り組みであるスイッチ操作や、運動課題、タイピングなどの課題を、黄門さま一行や悪役に扮して仲間と関わりながら発表することができました。通学籍の生徒は各授業での学習を積み重ね、訪問学級の生徒2名は訪問授業での学びや通学籍生徒との映像などでのやり取りを通して、心身の力を育みました。また、自分の適性或卒後の生活を考えながら、複数箇所への現場実習に真摯に臨み、進路先も決まりました。学生生活のかけがえのない日々を大切に重ね、卒業を迎えたいと思います。

## 就業技術科

### バレーボール部

就業技術科 教諭 中村 紗恵

2月1日(日)にIDバレーボール大会に参加してきました。千葉県流山市のキッコーマンアリーナで毎年開催され、中学生から社会人まで幅広い参加者の集う大会です。今年は元バレーボール日本代表・オリンピック出場4回の高橋有紀子さんがスペシャルゲストできていただき、試合をしました。3年生にとってはこの大会が公式戦引退試合となりました。

どの試合も全力で、最後まで諦めずにボールをつなぎ、男子女子チームともに勝利することができました。とても大きな勝利でした。3年生の勇姿を忘れず、来年度も頑張ります！



### 卓球部

就業技術科 教諭 石倉 地大

卓球部は、大会で結果を残すことができたり、今年度から始めた他校との合同練習や練習試合を行ったりと、生徒・教員共に刺激を受けることが多かった1年になりました。また、限られた練習時間の中で、課題の克服に向けてICT機器を活用しながら、生徒同士で学年の垣根を越えて助言し合い、すぐに受け入れ取り組む姿を見て、競技力向上だけでなく、人としての心の成長も感じました。これからも一球の重みを考え練習に励み、一球一打に賭けるプレーで、勝利に向けて日々努力を積み重ねます。応援よろしくお願ひします！